

はじめに



和歌山市の「第5次和歌山市長期総合計画」は、まちづくりの方向性を示すために策定しており、「きらり 輝く 元気和歌山市」を平成29年度から平成38年度までの将来都市像と定めています。この計画では「誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち」を目標のひとつに掲げており、なかでも健康で元気に暮らせる環境を構築することは、皆様の期待も大きく重要な施策のひとつです。

和歌山市においても、少子高齢化の進行や社会構造の多様化、国際化の進展など、保健や医療を取り巻く環境は大きく変化しています。その結果、生活習慣病の増加、こころの健康、食の安全、感染症、環境衛生、介護の問題等、健康を取り巻く課題は複雑多様化しています。

さらに、近く発生が予想されている南海トラフ巨大地震など、市民の生命、健康を脅かす大災害や突発的な事態の発生に的確に対応するための健康危機管理体制の整備や災害医療体制などの関心も高まっています。

今回の計画では、これらの状況を勘案し平成24年度に策定しました「和歌山市地域保健医療計画」を見直し、市民が健康でより豊かな地域生活を送ることができるよう、生涯を通じ、健康づくりから疾病予防、救急医療、災害医療や在宅医療等に至る総合的な保健サービスを提供できる仕組みの構築を目指しています。また、計画の実効性をより高めるべく、課題項目ごとの数値目標の設定や、年1回の進捗状況の把握など、内容の充実を図っております。

今後、この計画をもとに、和歌山県をはじめ保健・医療・福祉・健康危機管理に関する各関係機関とも緊密な連携を取りながら、地域の保健医療行政を推進し、市民が生涯を通じて、健康で元気に暮らせる「まち」和歌山市を目指し、取り組んでまいりたいと考えていますので、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりまして、多大のご尽力をいただきました和歌山市地域保健医療協議会の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました関係各位に、厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

和歌山市長 尾花正啓

